

正会員

エリザベト音楽大学
 近畿大学工学部
 呉工業高等専門学校
 県立広島大学
 山陽女子短期大学
 島根県立大学
 鈴峯女子短期大学
 日本赤十字広島看護大学
 比治山大学
 比治山大学短期大学部
 広島経済大学
 広島工業大学
 広島国際学院大学
 広島国際学院大学自動車短期大学部
 広島国際大学

広島修道大学
 広島女学院大学
 広島市立大学
 広島大学
 広島都市学園大学
 広島文化学園大学
 広島化学学園短期大学
 広島文教女子大学
 安田女子大学
 安田女子短期大学
 広島県教育委員会
 広島市教育委員会
 呉市教育委員会
 広島県私立中学高等学校協会
 計 25校 4団体

賛助会員

紀伊國屋書店(中四国営業部) / 中国新聞社 / 広島銀行 / 広島信用金庫 / 大学生協(中国・四国事業連合) / 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷(中四国事業部) / 進研アド(中・四国支社) / 広島商工会議所 / 中電工(広島統括支社) / リクルートマーケティングパートナーズ / もみじ銀行 / 五洋建設(中国支店) / 清水建設(広島支店) / 熊平製作所 / 合同総研 / 広島リバーサイドホテル / 丸善(広島支店) / 広島市信用組合 / 日建設計(中国支所) / DNP 西日本(第1営業本部) / 西日本電信電話(広島支店) / フジタ(広島支店) / 野村證券(広島支店) / コトブキシーティング(中四国支店) / 近畿日本ツーリスト中国四国(広島支店) / SMBC 日興証券(広島支店法人部法人課) / 広島管財 / アポアエンジニアリング / 中国電気保安協会(広島支店) / 呉信用金庫 / 中国電設工業 / A・I・C広島マネジメントシエラントホテル広島 / ひろた学園 IWAD 環境福祉専門学校 / 学生情報センター / オオケン / レタラフレア / ムロオシステムズ / 山崎印刷 / ワイテック / むさし / テレビ新広島 / 広島テレビ放送 / 広島ガス / 広島ホームテレビ / 広島マツダ / 日本システム技術(GAKUEN 事業部) / 中国放送 / マイティネット / パナソニック システムネットワークス(システムソリューションズジャパンカンパニ中国社) / 計 50社 1団体

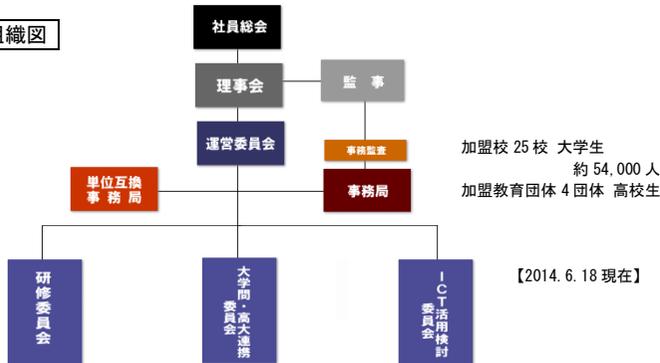
会費・参加費

基本会費 1 会員 22 万(同一学校法人設置短期大学 10 万・短期大学 18 万円
 高等専門学校 10 万・教育団体会費 10 万、5 万、3 万
 規模別会費 学生数 1 人につき 60 円
 賛助会費 1 口 3 万
 高大連携事業 1 高校につき 3 千円(正会員は免除)

理事・幹事

代表理事	川野 祐二	(エリザベト音楽大学学長)
理事	青木 信之	(広島市立大学学長)
理事	秋山 實利	(広島国際大学学長)
理事	浅原 利正	(広島大学学長)
理事	市川 太一	(広島修道大学学長)
理事	角重 始	(広島文教女子大学学長)
理事	瀬山 敏雄	(安田女子大学・安田女子短期大学学長)
理事	鶴 衛	(広島工業大学学長)
理事	中村 健一	(県立広島大学学長)
理事	古澤 敏昭	(広島都市学園大学学長)
理事	前川 功一	(広島経済大学学長)
理事	湊 晶子	(広島女学院大学学長)
理事	田原 俊典	(広島県私立中学高等学校長協会会長)
監事	朝倉 尚	(鈴峯女子短期大学学長)
監事	京極 秀樹	(近畿大学工学部工学部長)

組織図



教育ネットワーク中国 —連携と協力をめざして—

一般社団法人教育ネットワーク中国は、広島の高高等教育機関が連携・協力することにより、広島の高高等教育機関全体が魅力あるものとなり、各大学の学生の多様なニーズに応え、学ぶ意欲をもった人たちににより多くの学習機会を提供することを目的として 1998 年に設立され(設立当初組織名: 広島県高高等教育機関等連絡協議会)、本年で 16 年目となりました。その間、教育ネットワーク中国が関わる事業は年々増加してきましたが、皆様のご支援とご指導により現在がありますことを深く感謝申し上げます。

教育ネットワーク中国の事業は地方公共団体、高等学校、企業などと、それぞれが持っている資源を相互に提供し合う形で実施されており、加盟する大学の教職員の連携と協力によって成り立っています。

設立から現在まで

- 1997. 10. 7 「協力し連携することによって広島の高高等教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
- 10. 31 協議会設置準備会を開催。
- 12. 15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
- 1998. 4. 1 広島県高高等教育機関等連絡協議会発足。広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30 の大学・短期大学が参加。
- 1999. 4. 1 単位互換及び生涯学習事業を始める。
- 2002. 4. 1 広島県高高等教育機関協議会と改称、高大連携事業を始める。
- 2003. 4. 1 大学院単位互換事業を始める。
- 11. 27 全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる。
- 2005. 4. 1 教育ネットワーク中国と改称。広島県私立中学高等学校協会加盟。
- 2006. 4. 1 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
- 6. 17 教職員研修会を開始。
- 2007. 4. 1 高大連携科目等履修生制度の開始。教育ネットワーク中国設立 10 周年。
- 9. 15 第 4 回全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラム開催(広島)。
- 2008. 3. 21 中国新聞社との包括的連携協力協定を締結。
- 8. 20 文部科学省「戦略的の大学連携支援事業」採択。(～2010 年度)
- 12. 25 事務局を広島県自治会館内に移転。
- 2009. 4. 1 南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定を締結。中国新聞社キャンパスリポーター募集開始。
- 5. 1 「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託。(～2011 年度)
- 2011. 4. 1 一般社団法人登記(一般社団法人教育ネットワーク中国と改称) 広島県留学生生活支援センター設置。
- 2012. 4. 1 広島県留学生生活支援センターをひろしま国際センターへ移管。
- 4. 10 事務局を広島修道大学インターナショナルハウスに移転。
- 2013. 4. 9 広島県民文化センター5 階 6 階に開設されたサテライトキャンパスに単位互換科目・高大連携公開授業・公開講座・生涯学習講座を提供。
- 2014. 4. 1 広島県教育委員会加盟。

ロゴマーク

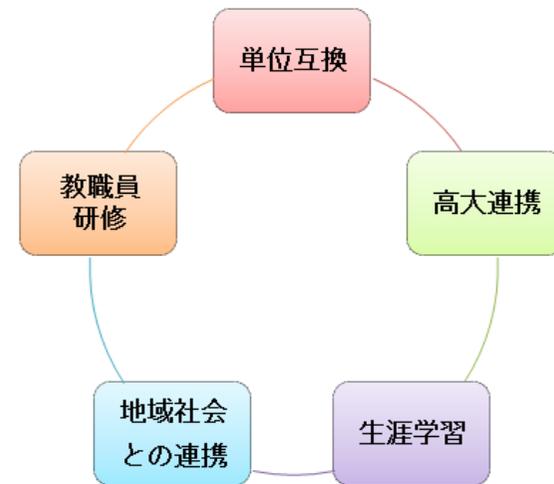


設立 10 周年記念の公募で選定しました。
 【コンセプト】
 教育ネットワーク中国の教育(education)のeとネットワークのn(Nの小文字)と中国のcを基に制作しました。小文字nをその形から橋のイメージを意図したフィクション、ノンフィクション問わず橋を大勢の人々で協力し建造する物語は数多くあり、そのことから、このロゴのテーマに最適に思いました。その橋の左の卵形をしたeから何か新しいものが生まれて橋を渡っていくようなイメージです。



**一般社団法人
教育ネットワーク中国**

2014



〒730-0803
 広島市中区広瀬北町 9-3
 広島修道大学インターナショナルハウス内
 TEL: 082-533-7590 FAX: 082-533-7591
 E-mail: office@enica.jp URL: http://www.enica.jp/

単位互換事業

自大学に開講されていない科目や学びたい他大学教員の科目を受講することを目的としている。
単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。



経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を始める。
2000年度から「ボランティア活動」(マツダ財団寄付講座)
2003年度から大学院単位互換を9大学14研究科30専攻が参加して開始。
2005年度から教職課程科目の提供を始める。
2008年度から「現代マスコミの動きを知ろう」(中国新聞社寄付講座)
2009年度から南大阪地域大学コンソーシアムとの広域型単位互換制度を始める。
2010年度から後期提供科目の追加募集を始める。
2013年度からサテライトキャンパスひろしまを会場とするサテライト科目を開始。

特色ある科目

- * 中国新聞寄付講座 県立広島大学「地域情報発信論」
- * マツダ財団寄付講座 安田女子大学「現代社会と人間性<ボランティア活動>」
- * 遠隔授業科目 広島大学院大学「Web デザイン演習」
- * 教職課程科目 エリザベト音楽大学「教育原理」
- * 広域型単位互換科目 南大阪地域大学コンソーシアム/羽衣国際大学「キャリアと社会」

履修者数

提供科目数	1999年度	2003年度	2012年度	2013年度
	86科目	205科目	224科目	243科目
①延べ履修者数	213人	796人	283人	269人
②実質履修者数	164人	416人	131人	122人

高大連携事業

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。
提供科目は公開授業(大学の正規の科目)と公開講座(高校生のための科目)から構成されている。

経緯

2002年3月に広島県下152高校が参加して高大連携協定を締結。
2002年4月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。
2003年度から広島大学付属高校が参加して153校となる。
2005年度から岩国地区の高校が参加して157校となる。二次募集の開始
高大連携委員会の設置、高大連携研究交流会の開催、三原尾道地区で高大連携公開講座を開講。
2006年7月三次地区で中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」を開講し、2007年度からは備北地区3高校で実施。
2007年度から12大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。
2009年度から「高大連携遠隔授業」を備北地区の高校と実施。

公開講座(申込者数)	公開授業(申込者数)	科目等履修(※公開授業を含む)
2002年 24講座 153人	92講座 157人	27人
2007年 78 1299	120 201	23講座 27人
2012年 96 1459	57 62	17 0
2013年 107 1360	58 65	19 13

大学へ行こうウィーク

おおむね8月1日～11日の間に開講されるものは、「大学へ行こうウィーク」としてたくさんの講義を提供。
[2013年度：公開授業3大学5・公開講座9大学4短大5]



中山間地域の高校の人材育成のためにより高度な学習機会の提供

- 中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」
- ・7月の土曜日に開催(三次地区・庄原地区・安芸高田地区)
- ・中学3年生も受講可能な科目
- ・キャリア講座「大学卒業後の進路講座」
- ・「保護者対象講座」(三次地区会場のみ開講)

■遠隔授業

- ・実施大学と高校をインターネット回線で結び双方向の授業



<中山間地域実施状況>

開講年度	中高大連携講座(受講者数)	遠隔授業(申込者数)
2007年	56講座 1302人	
2009年	63講座 1564人	13講座 194人
2012年	52講座 1393人	6講座 90人
2013年	54講座 1469人	4講座 81人

高大連携研究交流会

高校と大学の連携を促進するために2005年より毎年開催。
[参加者：教育委員会、高等学校21校、大学・短大11校、59人]

生涯学習事業

経緯

1999年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開催。
2001年度から広島県教育委員会と「ばれっとカレッジ」を広島県立生涯学習センターにおいて開催。
2002年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。
2003年度から講座情報をホームページで公開。
2005年度から公開講座「これからの教師像」を開講。
2009年度より「ばれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「エニカカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ICカード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。メールマガジン(講座情報)配信開始。
2010年度よりひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開催。

ひろしまカレッジ

IC受講証を活用し、受講受付・受講履歴の確認



メールマガジン(講座情報)配信

[登録者数 約360人・配信数 15]

2013年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	197	489	84	244	1005	2019
延べ受講者数	560	1639	404	242	2319	5164

- ①ばれっとカレッジ 3(13) ※広島県教育委員会共催
 - ②シティカレッジ 14(68) ※広島市・(財)広島市未来都市創造財団と共催
 - ③エニカカレッジ これからの教師像1(6) 研修会6(6)
 - ④大学で開講する公開講座 14(53) 計 38(146)
- IC受講証を活用していない講座を含む。()内はコマ数を表す。



地域社会との連携

中国新聞キャンパスリポーター

- ・所属大学に関するニュースや話題、地域課題、課外活動などを取材して、中国新聞紙面『キャンパスリポーター』やHPサイトに投稿
- ・記事の書き方、写真の撮り方などの研修会を実施
- ・年間を通して優秀な学生をキャンパスリポーター賞として表彰(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)

[2013年度 19会員校 在籍者数178人・紙面34本掲載]



ひろしまフラワーフェスティバル「折りづるみこし連」



平和の祭典であるひろしまフラワーフェスティバルの「折りづるみこし連」パレードに参加

[2013年度 3大学 交換留学生を含む11人参加]



ひろしま地域カード連携コンソーシアム 2012年4月6日設立

中国新聞社・PASPY運営協議会・広島銀行・一般社団法人教育ネットワーク中国(幹事社)各種カードの連携による地域活性化に向けて活動し、年3回の勉強会を開催。

教職員研修

	2006年度	2009年度	2012年度	2013年度
講座数	7講座	5講座	6講座	6講座
参加者数	385人	386人	225人	244人

日程	2013年度 教職員研修会 テーマ	参加数
第1回 6/1(土)	新入および概ね入職3年以下の事務職員を対象とした集合研修「理想の大学職員」ワークショップ	60
第2回 6/8(土)	今年度の新任教員および概ね新任3年以下の教員を対象とした集合研修「より効果的な授業を設計するために」ワークショップ	17
第3回 9/23(土)	「中国新聞キャンパスリポーター制度の意義と活用法」	32
第4回 11/9(土)	【大学行政管理学会西日本支部との共催】「米国の大学におけるラーニング・アウトカム確立の取り組みー米国調査を踏まえてー」	31
第5回 12/14(土)	【広島工業大学大学のFD研修と連携】「公開授業による授業改善」	78
第6回 2/22(土)	「基礎学力の向上のためのFD・SD第6回 教育方法改善のためのFD/SD研修「授業外学習の時間をどう充実させるか」	26

[2013年度 19会員校 231人他、中国新聞社4人、賛助会員1人、他大学6人 計244人]